

〈口頭発表〉

## 自覚症状のない二次カリエスの全身への影響と それに対する診断法とその処置について

岸保 文雄 Fumio GANBO

岸保歯科クリニック 〒735-0006 広島県安芸郡府中町本町 5-6-1

### 【はじめに】

歯科領域の全身への影響については色々言われているところですが、私は3 Mix-MP法&各種筋力テストを組み合わせて臨床に応用し、全身の色々な症状の寛解を実感しています。

患者さん自身の評価には全身表（日本全身咬合学会の健康調査質問表80項目）を書いてもらいます。

基本的に処置歯の治療の順序はこの診断法により決定しております。

### 【診断法】

- \* 3 Mix-MP 診断法（3Mix-MP を体表に置くか保持してもらう。）
- \* アルミ箔診断法（診断する部位をアルミ箔で覆う。滑沢な面を外側にする。）
- \* 左右側頭部、薬剤（SAGEE 又はネオセルプラス）添付診断法  
（SAGEE、ネオセルプラス…脳に対してプラスに働くと思われる薬剤）

### ● 評価テスト

- \* SLR（Straight leg raising test）足挙げテスト
- \* Fadirf（ファダーフ）  
（股関節 Flexion-adduction-internal rotation-flexion の略）股関節の内転、内旋
- \* Fabere（ファベレ）股関節の Patrick test と同義  
（股関節 Flexion-abduction-external rotation-extension の略）股関節の外転、外旋、伸展
- \* 大腿部クランクテスト（抵抗テスト）
- \* 手掌抵抗テスト（肩関節）

### ● 簡易評価テスト\*後屈&首の回旋運動

方法としては、ここに記してあるように、（基本的にはベッド使用し、ベッド上で行います）、簡易テストはベッドを出さずに行う方法です。ただ、ベッドで行う検査ほど信頼度はありません。

評価テストは、基本的には、仙腸関節の機能異常の検査と言われています。

足挙げテスト（仙腸関節の可動域のテストと言われています）ファダーフ、ファベレは股関節と仙腸関節を絡めたテストと言われています。

大腿部クランクテストは、ベッド上で、クランク状に、大腿部を90度にしてもらい、下肢の方向に抵抗テストを行います。手掌抵抗テストはベッド上で体に対し90度の手を挙げてもらい下肢の方向に抵抗テストを行います。

簡易テストは、立位になってもらい、その場で後屈&首の回旋運動を左右からやってもらっています。首のコリ等もわかります。

具体的方法としては、毎日作る3 Mix-MPの入った遮光容器の蓋を開けて持ってもらるか、体表に置き評価テストをします。その評価を確認し、次に診断する歯牙の部位をアルミ箔で覆い評価テストをします。

診断する部位を変えて行うことも多いですが、その評価を確認し、次に評価の悪い方の側の側頭部に薬剤（脳に対してプラスに働くと思われる薬剤）を置くか、添付して前の評価が改善する事を確認し、患歯を確定します。

この評価テストが非常に重要だと思っております。この方法を使う事によって色々な治療の評価に使えます。歯の全部のコンタクトにフロスを通

すと体が柔らかくなる。Bスポット療法の効果の判定にも使えます。足挙げテスト等が良好になる等からわかります。この評価法を用いて治療した症例を提示します。



R1年9月3日パノラマ写真

患者：58歳女性

主訴：歯科的な主訴はなし。全身症状として10年以上前から右足のしびれと痛みがある。

処置および経過

H31年4月3日 #36 NITE&FMC 印象

H31年4月17日 #36 GFMC セット

R1年7月1日 #34 インレー除去

3Mix-MP&Fuji IV

R1年7月23日 #46 アンレー除去

(歯牙の自覚症状なし)

3Mix-MP&Fuji IV



#46 アンレー除去時の口腔内写真

30年以上前に治療を行ったこんな状態の歯でも、自覚症状なし。

R1年8月6日 #46 アンレー印象

TEK 装着 (3Mix-MP&ハイ

ボンドカルボセメント)

R1年9月3日 #46 アンレー装着



#46 アンレー装着時のデンタル写真

#46 アンレーセット後デンタル写真です。全ての全身症状が寛解しているそうです。

徐々に右足(中指、薬指)のしびれ痛みが寛解していたが、#46処置後に、ほぼ右足のしびれ痛み解消。どの歯牙も自覚症状ほぼなし。この診断方法で処置。

#### 【考察】

私はこの方法で患歯を特定し治療を行うことにより、自覚症状のある2次カリエスのみならず自覚症状のない2次カリエスが全身にいかにも悪影響を与えているかを実感しております。3Mix-MPを使用せず、病巣無菌化のされていない10年～50年前の2次カリエス内で、嫌気性菌が繁殖し、全身に悪影響を与えているのではと考えます。(特に各種実験結果により脳への影響が大きいと考えます。)

この結果から、LSTR療法での治療を行い、病巣を無菌化することにより、長期にわたって、歯牙だけでなく、全身の健康を維持できると考えます。

#### 【参考文献】

\* 慢性痛を治したければ歯科に行きなさい  
藤井佳郎 著

\* 関節運動学的アプローチ AKA  
博田節夫 編

\* Bi Digital O-Ring Test 応用した歯科治療について、藤井佳郎先生の方法  
噛み合わせと全身との関連を考える会  
標準マニュアル、